


【ワークショップ事前準備】 IT教材閲覧後のアンケート結果（歯科医師会、教員）

各大学が実施している歯科医師会と連携した「地域連携歯科医療実習」の充実を図るために、実習で学生を指導して頂いている医師会の先生方にご協力頂き、アンケートを実施した。

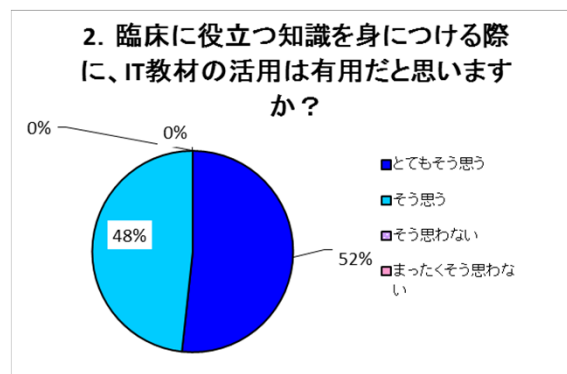
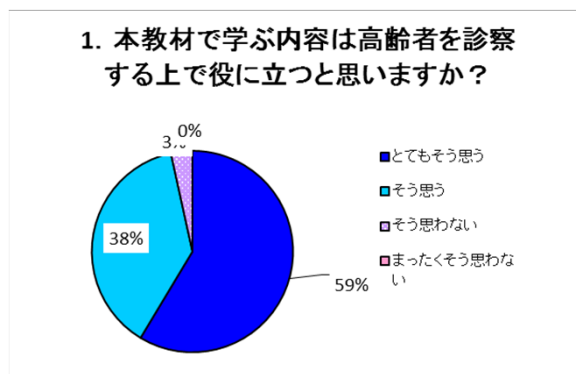
第9回ITを活用した教育センターワークショップを開催するにあたり事前にIT教材を試用してもらい、率直な感想を頂いた。

学生教育のみならず臨床研修医教育および新人歯科医師教育も視野に入れて生涯学習教材として活用するためにご意見を頂き、今後歯科医師会と大学の協働事業とするべくディスカッションを行った。



The screenshot shows the Moodle LMS interface. At the top, the Moodle logo is displayed in orange with a graduation cap icon. To the right, there is a language dropdown menu set to "日本語 (ja)". Below the logo, the "Home" section is visible. On the left, there are two main menu items: "利用サポート" (Support) with a link to "IT教材閲覧方法説明書" (IT教材閲覧方法説明書), and "設定" (Settings) with a link to "マイプロフィール設定" (マイプロフィール設定). The main content area is titled "コース" (Courses) and features a red-bordered box around the "歯科医師会向けコース" (Courses for Dental Association) section. This section contains two course listings, each with a trash icon: "[歯科医師会向けコース]5年生用IT教材 復習用ライブラリー" and "[歯科医師会向けコース]5年生用IT教材 症例課題". Below the course listings, there is a search bar labeled "コースの検索:" with a "Go" button and two links: "すべてを新リたむ" and "すべてを開閉する".

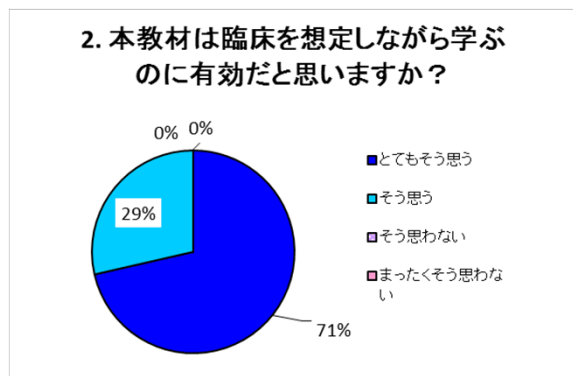
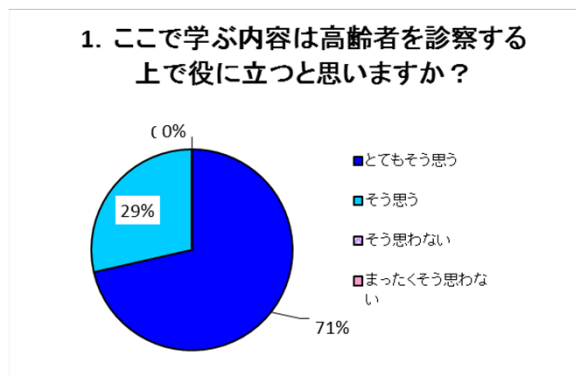
「復習用ライブラリー」閲覧後アンケート(回答者:29名)



自由記載

- ・ 繰り返し、演習させられる形なので、記憶に定着しやすいと思います。
- ・ とても見やすく、操作性もいい。使いやすい教材だと思います。
- ・ 解説や解答に音声が出れば、もっと楽しく学習できるのではないか。目から、耳から理解が深まるのではないか。
- ・ 事業も5年目を迎え、かなり充実した教材になったと感じています。ITの活用も、歯学教育の現状に即しており、有用と思います。
- ・ いつでもどこでも教材が開けるのは、学生にとって利便性が高いと思います。検索機能もあればさらにいいと思います。ただし、自分で調べる能力が低下する可能性は否定できません。
- ・ 高齢者の診察について、認知症の患者とのコミュニケーションが最も難しいと思うことから、本教材では、必ずしも要件を満たしているとは言い難いが、学生教育用としては十分な内容であった。IT教材の利用は学生の記憶に残るという点で極めて有効と思われる。
- ・ 良くまとまっており、繰り返し閲覧できるので知識の定着に役立つものと思う。あとは履修者に何度でも繰り返し見る気にさせるようなwebデザインの工夫もあると良いと思う。
- ・ WGのテーマによってボリュームに差がある。復習用であれば資料とテストを分けるとか、自分の苦手な分野を抽出できるようなシステムがあっても良いのではないかとされた。復習用ライブラリーなのに、テストの解答、解説が不十分なところがある。
- ・ 教材と小テストが交互にあり、細かく理解度を確認しながら進めることができ、また、ナビゲーションも非常にわかりやすく、大変優れた教材だと思います。
- ・ 高齢者の様々な病態について学べ、IT教材を活用することで学生はどこを重点に勉強すればいいのかがわかると思います

「症例課題」閲覧後アンケート(回答者:14名)



自由記載

- 生涯学習教材としてもイメージづくりという役割は十分に果たしうると思われる。
- 自分が歯学生5年の頃の知識とは格段の差があると思う。この教材を演習することで、知識がかなり整理されるはずだ。時代の流れをつくづく実感する。地域包括ケアシステムを念頭に置いた、これからの歯科医を養成するための有効な教材ができたと思う。少し心配なのは、学生の段階で医科歯科連携、多職種連携、行政との連携等にどれだけ実感してくれるものなのかということ。自分の学生時代はここまでの踏み込んだ教育がなかったため、今の学生さんなら対応できるものなのか？ 高齢者歯科医療に対する重要性を理解する一助となりえる教材になったと思います。
- 各設問に回答していくときの円滑さについて：試験問題を解く際、現症等のデータ、および問題文の確認を繰り返す場合があります。いちいちブラウザのページ間を移動するのに不便を感じます。
- 高齢者の診療について、問題点をよく学べる内容となっていると思います。
- 中には、図表の中の文字が小さくて判読しがたいものがありました（心電図の解説図）。
- 問題解答の中には記述式のものが多いですが、その評価方法は指導者が返答する形式なのでしょうか。学生側へのフィードバックのあり方をどのようにされるのか気になりました。
- 座学と臨床を結びつけるうえで、重要な教材だと思います（臨床研修歯科医が、知識と臨床の事象を関連づけて学ぶことに関しては弱い部分であり、それを補う上でも有効）。
- 今回いろいろ拝見し、「8ビットパソコンの頃にこんなロールプレイングゲームがあったなあ」と懐かしさを覚えました。どこでも自由に歩ける様でありながら、少し慣れてくるといくつか決まった道しか通れない、あの感覚です。
- 全般的には良く出来ていると感じました。気が付いた事として、歯科医師会の方々に閲覧・実施して頂く場合、どの位の時間がかかるかを事前に分かるようにすると良いかと思います。また、初めてログインした場合、全体像が把握できないのではないのでしょうか？ 文字サイズ等にしても、もう少し大きい方が良いか感じました。
- 3年、4年、5年と何回も繰り返すことで知識の定着がはかられると思います。
- 国家試験問題をさらに追加していくと自主的に勉強教材として活用してもらえる様になるとおもう。
- 症例課題も入っており良い構成になっていると思いますが、教材の内容が多すぎるようにも感じました。皆さんのご意見を頂きたいと思います。
- IT教材を作成することは、関連大学で共通の学習ができるため有用だと考えます。そして何年かで教材を更新する必要もあると考えます。
- ビデオリソースやVP教材による症例提示から始まり、その後問題を考えさせる構成は、より現実に近い学習環境や思考過程を促すものだと思います。また、これにより、IT教材の活用は、学習者が「疾患」としてでなく、「患者が有する問題」として学習することを可能にしたと感じました。
- 問題解答後に、正答例や簡単な解説があり、知識の定着にも有用だと思います。
- 今回のIT教材は、バランスよく、学習の促進に活用できるものになっていたと感じました。ただ、必ずしもIT教材を多く取り入れることが教育効果を高めるとは限らないので、今後の教材開発では引き続き、どのように、どんなIT教材を活用していくかに留意する必要があると思いました。
- 症例課題については、患者モデル設定が難しく、SPでは逆に臨床のリアリティが落ちるので、作成するのは本当に難しいと思う。地域歯科医師会の先生方にもご協力いただいて、疾患にとらわれずに、もう少し一般的な高齢者の課題があってもいいように感じた(90代で自立度の高い元気高齢者のような方)。